

新記録続出！全国大会へ向けて好発進！

◇県内女子中学生初の11秒台が誕生！ 伊勢港中 世古綾葉

6月16日の個人種目選手権で伊勢港中の世古綾葉選手が中学生女子100m決勝において追い風1.8mの好条件の中11秒99の県中学新記録を出しました。

東海マスターズ選手権、高等学校定時制大会と同時開催で個人種目選手権が行われました。三重国体の種目に確定した300m、300mHや公認競技会ではなかなか見られない1000mがあるなど、初めて行われたこの競技会ですが、その日は1日を通して風向きがころころ変わり、時間が違えば追い風参考記録になりかねない中で（実際、その前の組では追い風参考記録でした。）天気も味方し、見事な新記録でした。



また、世古選手は7月13、14日に行われた県内最高の競技会である三重県選手権にも伊勢港中のリレーチーム（小林玲那選手、木下奈々花選手、廣村結選手）とともに出場しました。普段は高校生、一般の選手しか出場できませんが、特別に出場を認められました。1日目には女子4×100mRが行われました。小雨が降ったり止んだりし、湿気が多いジメジメした気候の中、予選から48秒60の県中学新記録を出しました。決勝では更なる記録の更新とはなりませんでしたが高校生や大学生のチームに混じっての堂々の3位。2日目の中3、高1が出場する少年B女子100mでは学年が1つ上の高校1年生を相手に他を寄せ付けない圧巻の走りを見せ、優勝。100mでは更なる記録の更新とはなりませんでしたが、8月21～24日に大阪ヤンマースタジアム長居で行われる全日本中学陸上に向けて、優勝を期待しましょう。

◇小学生でも新記録！ いすずUK 北尾心映

7月7日に日清食品カップ小学生陸上競技交流大会三重県予選会が行われました。そこでいすずUKの北尾心映選手が女子6年生100mで12秒76の県小学新記録を出しました。

前日まで降っていた雨も上がり、穏やかな気候の中、開始式で堂々とした選手宣誓から彼女の活躍は始まっていました。予選では向かい風0.4mの中12秒92と県小学記録の12秒91まであと0.01と迫る大会新記録を出しました。否が応でも県小学新記録の期待がかかる決勝で、その期待に応え、今までの記録を大きく更新する12秒76の県小学新記録を出しました。全記録保持者の須川さんもこの大会で県小学記録を出し、全国大会でさらに記録を更新し優勝しました。8/10に神奈川日産スタジアムで行われる日清食品カップ小学生陸上競技交流大会でも好記録と優勝が期待できます。

また、全国大会には出場しませんが男子3年生60mでも津地区予選会で一志Beastの木下奏人選手が9秒07の県小学新記録を出し、さらに県大会の決勝ではいすずUKの北尾琥太郎選手が9秒05とさらに更新しました。木下選手は9秒08と好タイムでしたが惜しくも2位となりました。まだまだ3年生の2人に益々期待が膨らみます。

◇400mHで東海高校新記録！ 四日市商高 奥林 凜

6月21～23日に静岡県の小笠山総合運動公園エコパスタジアムで行われた東海高等学校対校選手権大会（東海高校総体）で四日市商高の奥林凜選手が女子400mHで58秒73の東海高校新記録を樹立しました。

5月31日から6月2日まで県高等学校対校選手権大会（県高校総体）が行われました。2日目に行われた400mHにおいて予選、準決勝と難なく1位通過をし、迎えた決勝、レースの序盤から周りを気にすることなく自分のペースで快調に走り、他を引き離して1着でゴール。そのタイムは1分00秒56と県高校新記録をマークしました。

そこから約3週間が経ち、東海高校総体を迎えました。初日の100mHで5位に入賞し、インターハイ出場を決めて2日目の400mHに臨みました。予選を余裕を持って通過し、準決勝のレースではトップのタイムの1分00秒39の大会新記録（前述の通り県高校新記録もさらに更新）を出しました。それでは留まらず、決勝では58秒73の県高校記録を大きく塗り替え、東海高校新記録を樹立しました。また、2位以下の選手も6位までが大会新記録というレベルの高いレースを見ることができました。8月4～8日に沖縄県総合運動公園陸上競技場で行われる全国高等学校対校選手権大会（インターハイ）では更なる記録の更新と優勝を期待できます。

また、東海高校総体で皇學館高の大井悠選手が男子八種競技で5802点の県高校新記録（東海高校総体大会新でもあります）を出しました。八種競技は100m、走幅跳、砲丸投、400m、110mH、やり投、走高跳、1500mの八種目の合計得点で争われ、6月22、23日の2日間にわたって行われました。初日の4種目終了時点で3000点を超え、他の選手を大きく引き離し、その勢いのまま2日目の競技も好記録を出し、そのまま優勝し、県高校新記録を出しました。好調の投擲種目では4月20、21日の国体一次選考競技会で宇治山田商高の鴨澤青海選手が男子円盤投で51m37、7月13、14日の県選手権で伊勢工高の山川滉心選手が65m03の県高校新記録をそれぞれ樹立しました。大井選手、鴨澤選手、山川選手とも昨年のインターハイにも出場しています。その経験を活かし、3年生のこの夏の大活躍を期待しましょう。

◇大学生も七種競技で県新記録！ 中京大 飯塚あかり

6月21～23日に京都西京極総合運動公園陸上競技場で行われた西日本学生陸上競技対校選手権大会で中京大の飯塚あかり選手が女子七種競技で5134点の県新記録を出しました。七種競技は100mH、走高跳、砲丸投、200m、走幅跳、やり投、800mの七種目の合計得点で争われ、6月21、22日の2日間にわたって行われました。飯塚選手を含む上位3選手が各種目で好記録を出し、初日の時点では僅差でしたが、2日目の種目で徐々に差を大きくし、見事優勝することができました。9月12～15日に岐阜メモリアルセンター長良川競技場で行われる日本学生陸上競技対校選手権大会の参加標準記録Aの5000点も突破し、更なる活躍が期待されます。

◇110mHで県新記録！ 三重県体育協会 藤井亮汰

2年後の三重とこわか国体を控え、三重県体育協会の藤井亮汰選手が男子110mHで13秒78の県新記録を出しました。

5月6日に大阪ヤンマースタジアム長居で行われた日本グランプリシリーズ大阪で13秒94と県記録の13秒89にあとわずかの記録を出します。その約1ヶ月後の6月2日に鳥取布施総合運動公園陸上競技場で行われた布施スプリントに出場します。予選では追い風2.1mと追い風参考ながら13秒90の好タイムを出し、A決勝へと駒を進めます。その決勝で追い風1.9mの中13秒78の県新記録を出すことができました。また、7月13、14日に行われた三重県選手権において更なる記録の更新とはなりませんでしたが13秒83の大会新記録を出し、好調を維持しています。また、6月27～30日に福岡博多の森陸上競技場で行われた日本選手権では13秒99のタイムで6位に入賞しました。9月の全日本実業団、10月の国体と今後益々の期待ができます。